

研究部会報告



●意思決定のための会計情報●

●第8回

日時：3月24日(土) 13:30~16:00 場所：日本シーディーシー(株)会議室 出席：13名

内容：IFPS (Interactive Financial Planning System)の紹介 紹介者：中島一雄、竹内正順 (株)コンピュータ・アプリケーションズ)

IFPSの各種コマンド機能の説明と、IBM5150システムによる実演が行なわれた。

●信頼性・保水性●

●第11回

日時：3月24日(土) 場所：東京工業大学

テーマ：2標本問題の加速寿命試験への応用 講師：宮村鐵夫(茨城大学)

1979年から1983年の間の一連の加速寿命試験に関する文献をいくつかの観点から分類整理して報告された。その中で特に、2標本問題における検定統計量を加速パラメータの推定に応用する考え方や、ステップ型ストレスを与えたときの逆べき法則における新たな加速モデルなどを中心に説明がなされた。

●未来分析●

●第10回

日時：4月7日(土) 14:00~17:00 場所：東京都勤労福祉会館 参会者：28名

議題：行政改革の理念について一増税なき財政再建の真のねらいを探る。講師：公文俊平(東京大学)

行政改革は現在の日本の最大課題であり、また財政再建も重大関心事項である。公文俊平氏は第2次臨時行政調査会の専門委員として専門にこの問題にとりくんで来た人であり、今後の日本の進むべき道に鋭い洞察力をもった解説がなされ、それをもとにして座談会形式で種々討議が加えられた。

●待ち行列●

●第1回

日時：4月21日(土) 14:30~17:40 場所：東京工業

大学(情報科学科会議室) 出席：20名

テーマと講師：

●Q1-1 「待ち行列」研究部会運営方法に関するアンケート集計結果(川島幸之助・武蔵野通研)

●Q1-2 Discrete Tandem Queue (多段階生産システムの生産率)(森 雅夫・東工大) 一故障の生じる機械とバッファの組が、多段につらなったシステムの生産率の近似計算法の研究結果と、関連文献の紹介。

●Q1-3 Queueの自己相関の領域問題(中塚利直・都立大) 一待ち行列における自己相関の領域は、時系列の一般的な議論と比較すると非常に狭い。

●経営● (研究グループ)

●第12回

日時：3月10日(土) 14:00~17:00

場所：東京都勤労福祉会館 中央区新富1-13

テーマ：中国古代のオペレーションズ・リサーチを現代の眼でみる 講師：上田亀之助

世界にとって西暦紀元前500年からの数百年間はまことに不思議な時代です。ギリシャでソクラテス、ベルンシャでゾロアスター、中国の春秋戦国時代では兵法家として孫子、思想家として孔子・老子・荘子・荀子、そして企業家としては陶朱公等が出現して、それぞれの手法でオペレーションズ・リサーチを駆使した。

●第13回

日時：4月14日(土) 14:00~17:00 場所：東京都勤労福祉会館 中央区新富1-13

テーマ：情報化社会と狂気症候群 講師：小島光造(小野勝章事務所)

科学と技術が進歩して合理化がすすむにつれて、それと平行して人間疎外の発生の危険も大きくなりつつある。また、オートメーションの発達により1人の人の管理の幅も極度に増大している。そして、たとえ悪意はなくても、ほんの1人のちょっとした、へまや手ちがいが重大事故につながることも皆無とはいえない。これらの問題の対策が講師により論ぜられた。

●第14回

日時：5月12日(土) 14:00~17:00 場所：東京都勤労福祉会館 中央区新富1-13

テーマ：工場立地の生態と構造：重厚長大から軽薄短小への対応 講師：上田亀之助